学校法人 ソニー学園
湘北短期大学

2026 年度 第 6 号
通算第 44 号

湘北SDGs
Think Globally, Act Locally.

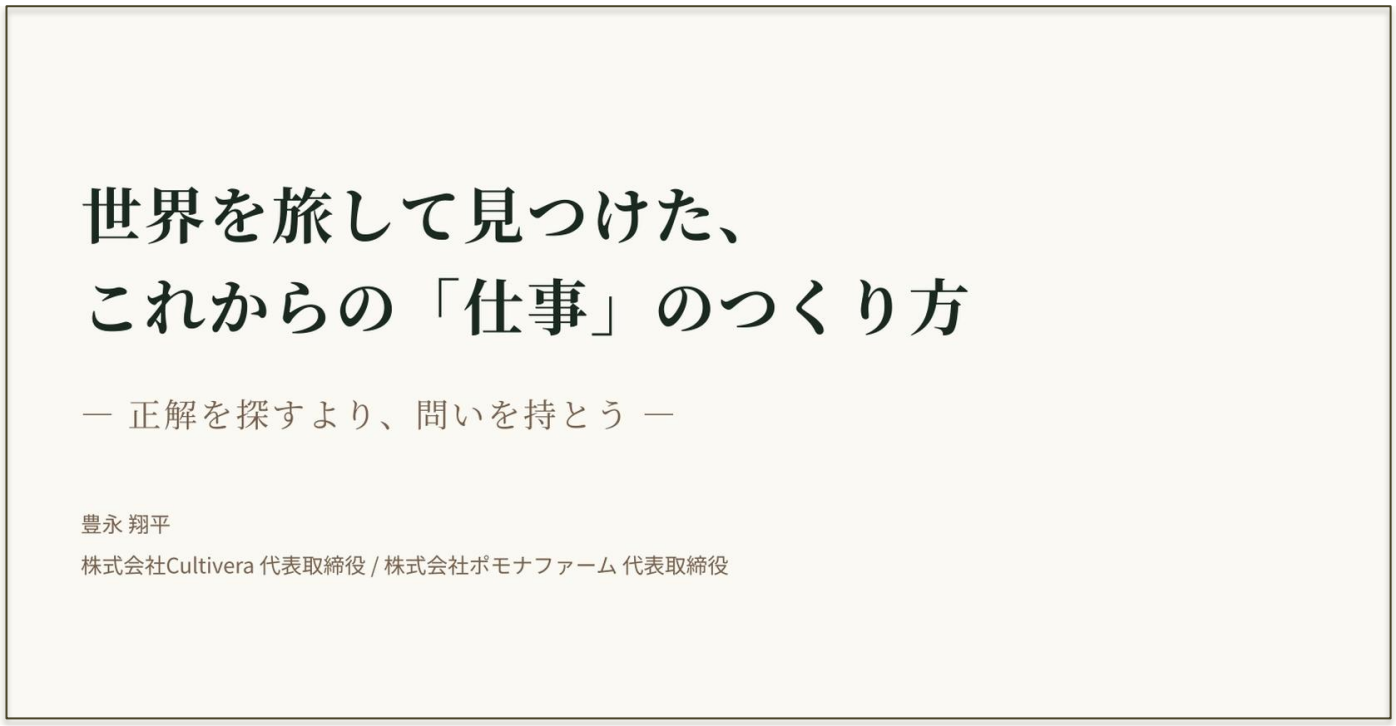
United Nations Academic Impact

【ゲスト講師による講義／SDGs】2026 年 7 月 13 日

食と農から、「自分だけの問い」へ。

アグリテック起業家に学ぶ、食・農とキャリア

生活プロデュース学科 1 年生の必修科目「SDGs と社会デザイン」で、豊永翔平氏をゲストに迎えました。気候変動で揺らぐ食と農の現場と、自身のキャリアを題材に、AI 時代に必要な「問う力」「感じる力」を学びました。



豊永翔平氏の講義スライド。「正解を探すより、問いを持とう」を軸に、食・農の現場と自身のキャリアを語りました。
豊永翔平氏：株式会社 Cultivera／株式会社ポモナファーム 代表取締役

講義テーマ：「気候変動時代における新たな食と農のかたち」

01 CLIMATE	02 QUESTION	03 CAREER
食卓と気候変動のつながりを知る	AI 時代に必要な「問う力」「感じる力」を考える	一本道ではない人生から、自分の一歩を描く

学校法人ソニー学園 湘北短期大学
生活プロデュース学科・リベラルアーツセンター
〒243-8501 神奈川県厚木市温水 428 ｜ TEL 046-247-3131

今回の発行人
築瀬 千詠

学校法人 ソニー学園
湘北短期大学

2026 年度 第 6 号
通算第 44 号

LEARNING STORY

食と農の現実から、自分の未来を考える

気候変動で、農業の前提が揺らぐ

毎年恒例となっている豊永翔平氏の特別講義。今年も「気候変動時代における新たな食と農のかたち」をテーマに、世界各地で取り組む農業プロジェクトや、水・食料・高温化など、食と農を取り巻く課題についてお話しいただきました。あわせて、少ない水での栽培を可能にする独自技術「Moisculture」など、気候変動に対応する新しい農業の可能性も紹介されました。

講義では、豊永氏のファームで栽培したトマトから作られた濃厚なトマトジュースを、受講した学生全員にご提供いただき、実際に味わいながら農業と食の未来について考えました。

今年はさらに、エネルギー価格の上昇や気候変動の深刻化など、農業を取り巻く条件が大きく変化する中で、事業や仕事のあり方を柔軟に見直していく必要性についても、ご自身の経験をもとに語っていただきました。そこから話題はキャリアへと広がり、「正解を探すより、自分だけの問いを持とう」というメッセージが学生たちに投げかけられました。

「夢を持とう」ではなく、「問いを持とう」

考古学を学び、研究者を志していた豊永氏が「なぜ、人は争うのか」という問いを追う中で、食料・水・気候変動という課題に行き着き、農業へ。人生は計画通りではないからこそ、正解を探すより、自分だけの問いを持つことがキャリアをつくると語りました。

AI 時代の二つの力 ―「問う力」と「感じる力」

AI は答えを出すことが得意でも、「何を問うか」は人間の仕事。さらに、現場で見て、触れて、人と話すことで生まれる「感じる力」を、豊永氏は「体感知性」と表現しました。「経験はダウンロードできない」という言葉も、学生の心に残りました。

翌週、対話で「自分の問い」を深める

翌週はワークシートを用い、心に残った言葉、自分が感じる「なぜ？」、諦めたくないことを個人で整理。その後グループで問いを共有し、自分の専攻と社会課題をつなぐ仕事を考え、最後に「明日から始める小さな一歩」を言葉にしました。

講義から考えた 4 つのキーワード

01 QUESTION **自分だけの問いを持つ** 正解を探すより、「なぜ？」を大切にする	**02 EXPERIENCE** **経験から感じ、考える** 経験はダウンロードできない。現場で世界を読む
03 RESILIENCE **失敗の現実と向き合う** 美談にせず、それでも問いを諦めず挑戦する	**04 CONNECT** **異なる分野をつなぐ** 専門性を越え、世界と世界をつなぐ力を育てる

若いうちに、やってほしい 4 つのこと

海外へ行く ｜ 会いたい人に会う ｜ 小さく挑戦する ｜ 「なぜ？」を大切にする

STUDENT VOICE

「夢がなくても、問いを探せばいい」 「夢を持ちなさい」と言われ続け、夢がないことに焦りを感じていた学生は、「夢がなくても問いを探す大切さを教えてもらい、救われた」と振り返りました。

「経験はダウンロードできない」 スマホに頼るだけでなく、自分の目で見て、疑問を持ち、考える経験を大切にしたいと思いました。

「失敗は美談ではない」が心に残った 失敗は信頼や自信を失うこともある。それでも自分の問いを諦めず挑戦する姿勢を、将来に生かしたいと感じました。

食卓の向こうに、農業と気候変動がある 価格だけでなく、生産者の努力や気候変動の影響を意識し、食べ物を大切にして自分の行動を見直したいと考えました。

学校法人ソニー学園 湘北短期大学
生活プロデュース学科／リベラルアーツセンター
〒243-8501 神奈川県厚木市温水 428 ｜ TEL 046-247-3131

湘北SDGs
Think Globally, Act Locally.

THIS ACTIVITY × SDGs



食・農を入口に、貧困、飢餓、水、気候変動が相互につながることを学びました。

United Nations Academic Impact

湘北短期大学は国連アカデミック・インパクト（UNAI）加盟校です。教育・研究を通じ、持続可能な社会づくりに取り組んでいます。

Web サイト湘北 SDGs はこちら

www.shohoku.ac.jp/sdgs/

記事執筆
生活プロデュース学科　築瀬 千詠

※本誌は国連による承認・推奨を示すものではありません。

今回の発行人
築瀬 千詠